新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）の実施状況及び効果検証について

事業名	情報教育推進事業（統合型学習支援ソフトウエアの活用）
実施年度	令和7年度
事業実施内容	予測不可能なこれからの社会を生きる子供たちに必要な資質・能力の確実な育成を図るため、児童・生徒への指導や学び方を追究し、質の高い教育を市民に提供することが課題となっている。そこで狛江市立小・中学校全校に統合型学習支援ソフトウェア（授業支援アプリ及びAIドリル）を導入することで、①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実及び東京都が目指す「デジタルを活用したこれからの学び」、②多様なニーズに応じた家庭における学習支援、③教員の負担軽減（働き方改革）の実現を図り、質の高い教育を市民に提供するとともに、魅力向上を図り、教育で選ばれる狛江市を実現する。
事業所管課	教育部 学校教育課

具体サービス
【授業支援アプリ】 〇児童・生徒の考えをデジタル技術を活用しながら、思い通りに表現することができる。併せて児童・生徒の考えを瞬時に共有し、質的・量的にも充実した双方向のやり取りが可能となる。 〇児童・生徒の成果物は蓄積することができ、指導と評価の一体化を図ることができる。 〇教員が授業で活用したデータを再利用、共有することができ、教員の働き方改革に繋がる。 【AIドリル】 〇授業中だけでなく放課後学習でもICTを活用した個別最適化学習を進めるとともに、学習サイクルを構築し、スモールステップで知識を習得することができる。 〇教員が児童・生徒の取組状況等をいつでも詳細に把握することができ、適切な支援に繋げることができる。データの蓄積により教員の業務効率化・教育データの利活用を促進することができる。 〇自動採点機能により、教員の負担軽減に繋がる。

■事業の推進体制・構成員

名称（団体・事業者名）	事業における役割
狛江市教育員会	事業全般の管理・統括
ソフトウェア提供事業者（株式会社ベネッセコーポレーション）	ソフトウェアの提供等
システム構築・運用保守事業者（株式会社内田洋行）	ソフトウェア活用環境整備等
狛江市立小・中学校	ソフトウェアの活用等
各学校における学校運営協議会	学校教育充実に関する評価

■事業収支

経費項目	金額（単位：千円）
統合型学習支援ソフトウエア（ミライシード）	24,480
AIドリル（ドリルパーク）	6,120
授業支援アプリ（オクリンクプラス）	6,120
初期構築（URL作成・年次更新作業等）	840
保守運用（バージョンアップ対応等）	1,080
ヘルプデスク対応等	2,160
消費税	4,080
経費合計	44,880

収入項目	金額（単位：千円）
なし	0
収入合計	0
収入合計－経費合計	-44,880

新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）の実施状況及び効果検証について

■事業実施状況

KPA（重要業績評価指標）①	単位	1年目（令和7年度）		2年目（令和8年度）		3年目（令和9年度）	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
授業支援アプリの起動率	%	50	45	55		60	
状況・課題・次年度以降に向けた取組等	教員が感じる使用感や課題を丁寧に聞き取った上で、教育委員会・各学校・事業者が情報を共有し、連携して利用促進につながる対策を検討する機会の頻度を増やすとともに、AIドリルの有用性や効果的な活用方法について研修等を通じて学校・教員に浸透させることで、授業及び家庭学習における継続的な活用につなげていく。						

KPA（重要業績評価指標）②	単位	1年目（令和7年度）		2年目（令和8年度）		3年目（令和9年度）	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
AIドリルの取組状況（利用時間・学習履歴）（小学校平均）	分/日	10.5	3.4	14		17.5	
状況・課題・次年度以降に向けた取組等	教員が感じる使用感や課題を丁寧に聞き取った上で、教育委員会・各学校・事業者が情報を共有し、連携して利用促進につながる対策を検討する機会の頻度を増やすとともに、AIドリルの有用性や効果的な活用方法について研修等を通じて学校・教員に浸透させることで、授業及び家庭学習における継続的な活用につなげていく。						

KPA（重要業績評価指標）③	単位	1年目（令和7年度）		2年目（令和8年度）		3年目（令和9年度）	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
AIドリルの取組状況（利用時間・学習履歴）（中学校平均）	分/日	21	1.4	24		30	
状況・課題・次年度以降に向けた取組等	教員が感じる使用感や課題を丁寧に聞き取った上で、教育委員会・各学校・事業者が情報を共有し、連携して利用促進につながる対策を検討する機会の頻度を増やすとともに、AIドリルの有用性や効果的な活用方法について研修等を通じて学校・教員に浸透させることで、授業及び家庭学習における継続的な活用につなげていく。						

KPA（重要業績評価指標）④	単位	1年目（令和7年度）		2年目（令和8年度）		3年目（令和9年度）	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
全国学力・学習状況調査（小6）の調査結果（学習状況）【ICT機器の活用】	%	65	77.6	70		75	
状況・課題・次年度以降に向けた取組等	現状の実績値は、3年目の目標値を達成していることから、現在の利用状況を維持するとともに、本サービスについて上述の取組を着実に進め、授業及び家庭におけるさらなる活用促進を図ることで、一層の実績向上を目指す。						

KPA(重要業績評価指標) ⑤	単位	1年目(令和7年度)		2年目(令和8年度)		3年目(令和9年度)	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
全国学力・学習状況調査(中3)の調査結果(学習状況)【ICT機器の活用】	%	65	79.5	70		75	
状況・課題・次年度以降に向けた取組等	現状の実績値は、3年目の目標値を達成していることから、現在の利用状況を維持するとともに、本サービスについて上述の取組を着実に進め、授業及び家庭におけるさらなる活用促進を図ることで、一層の実績向上を目指す。						

KPA(重要業績評価指標) ⑥	単位	1年目(令和7年度)		2年目(令和8年度)		3年目(令和9年度)	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
全国学力・学習状況調査(小6)の調査結果(学習状況)【学習時間】	%	70	55.95	73		75	
状況・課題・次年度以降に向けた取組等	教員が感じる使用感や課題を丁寧に聞き取った上で、教育委員会・各学校・事業者が情報を共有し、連携して利用促進につながる対策を検討する機会の頻度を増やすとともに、AIドリルの有用性や効果的な活用方法について研修等を通じて学校・教員に浸透させることで、授業及び家庭学習における継続的な活用につなげていく。						

KPA(重要業績評価指標) ⑦	単位	1年目(令和7年度)		2年目(令和8年度)		3年目(令和9年度)	
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
全国学力・学習状況調査(中3)の調査結果(学習状況)【学習時間】	%	80	71.3	83		85	
状況・課題・次年度以降に向けた取組等	教員が感じる使用感や課題を丁寧に聞き取った上で、教育委員会・各学校・事業者が情報を共有し、連携して利用促進につながる対策を検討する機会の頻度を増やすとともに、AIドリルの有用性や効果的な活用方法について研修等を通じて学校・教員に浸透させることで、授業及び家庭学習における継続的な活用につなげていく。						